

---

---

**平成29年度 第1回  
川口市障害者福祉計画等策定委員会  
議 事 要 旨**

---

---

**【日 時】** 平成29年8月22日（火）14:00～15:10

**【場 所】** 川口市役所本庁舎2階第3会議室

**【出席者】**

1 市 長

奥ノ木市長（途中退席）

2 委 員

田中委員（委員長）、猪野塚委員（副委員長）、新谷委員、島袋委員、櫻井委員、濱田委員、松本委員、森委員、小巻委員、吉田委員、西村委員、小谷委員、田辺委員

3 事務局

池田部長、日露次長、蛭名課長補佐、松崎係長、小柳課長補佐、稲森主任、加藤主任、木内主事

**【日 程】**

1 開 会

2 委嘱書交付

3 市長あいさつ

4 正・副委員長の選出

5 議題

（1）会議の公開について

（2）川口市障害者福祉計画等の策定について

（3）計画策定のスケジュールについて

（4）アンケート調査・意見交換会の実施について

（5）現行計画施策・事業の進捗状況調査について

（6）その他

6 閉 会

**【配布資料】**

- ・ 第1回川口市障害者福祉計画等策定委員会次第
- ・ 資料1 委員名簿、川口市障害者福祉計画等の策定に向けて、スケジュール等
- ・ 資料2 アンケート調査について
- ・ 資料3 進捗状況調査について
- ・ 第1回川口市障害者福祉計画等策定委員会意見書
- ・ 第1回川口市障害者福祉計画等策定委員会席次表
- ・ 川口市障害福祉計画
- ・ 川口市障害福祉計画（概要版）
- ・ 第4期川口市障害者自立支援福祉計画
- ・ 第4期川口市障害者自立支援福祉計画（概要版）

## **[議事要旨]**

### **1 開 会**

事務局より、開会のあいさつが行われた。

### **2 委嘱書交付**

市長より、委嘱書が交付された。

### **3 市長あいさつ**

市長より、あいさつが行われた。

### **4 正・副委員長の選出**

川口市障害者福祉計画等策定委員会要綱に基づき、小巻委員の推薦により田中委員が委員長に、田中委員の推薦により猪野塚委員が副委員長に選出された。

## **5 議 題**

### **(1) 会議の公開について**

#### **【説明】**

事務局より、会議の公開について説明が行われた（資料1）。

#### **【質疑応答・意見】**

会議の公開について決定された。

### **(2) 川口市障害者福祉計画等の策定について**

#### **【説明】**

事務局より、川口市障害者福祉計画等の策定について説明が行われた（資料1）。

#### **【質疑応答・意見】**

特になし。

### **(3) 計画策定のスケジュールについて**

#### **【説明】**

事務局より、計画策定のスケジュールについて説明が行われた（資料1）。

#### **【質疑応答・意見】**

特になし。

### **(4) アンケート調査・意見交換会の実施について**

#### **【説明】**

事務局より、アンケート調査・意見交換会の実施について説明が行われた（資料2）。

## 【質疑応答・意見】

- (委員) 6ページ問9の選択肢に「ケアホーム」とあるが、現在も制度の中にあるのか。また、問11の選択肢1「自宅」がわかりづらい。問9では細かく尋ねているが、問11でも社宅や会社の寮も自宅として捉えているのか。それから7ページ問20の設問文の「施設」とは入所施設を指しているのか、あるいはグループホームも含んでいるのか。
- (事務局) 「施設」は入所施設を指している。
- (委員) そうであれば、グループホームに入居する場合の設問もあったほうがよい。また、「ずっと住み続けられるかどうか」という選択肢もあったほうがよい。次に、12ページ問37で設問文では「あなたは」となっているため、選択肢7は「介助がしやすいよう」ではなく「介助を受けやすいよう」としたほうがよい。それから、問39では施設の暮らしと地域の暮らしが対立構造に捉えられているが、入所施設という暮らしの中でも地域生活をしていく必要があるのではないかと。
- (委員) 25ページ問42で、「グループホームなどで生活」と「入所施設で生活」の違いは何か。
- (事務局) 入所施設は施設、グループホームは在宅という扱いになっている。両方で規模が異なり、グループホームは生活の拠点としてそこから就労先や通所施設に通う方が多いが、入所施設は、基本的には生活の基盤も活動の基盤も施設という方が多い。
- (委員) そのことをアンケート回答者は知っているか。
- (事務局) お子さんが対象の調査なので、基本的には保護者や親族に答えていただくことになると思うが、ご指摘のとおり全ての方がグループホーム・入所施設の区別を知っているかどうかは不明なので、改めて検討したいと思う。
- (委員) 相談支援をしていると、なぜそうなるまで相談に来なかったのかという事例が多い。日常的に社会資源が本人の意思決定支援も含めて理解し、支援する環境があるかどうかが大変であると思うので、そういったことが把握できるような選択肢があってもよいと思う。
- (委員長) 大事な視点だと思うので、後で案をいただくと事務局も助かると思う。
- (委員) 7ページ問15について、収入はあくまでも労働によって得たものか、それとも年金や扶助も含まれるのか。
- (事務局) 基本的には年金等も含めると考えているため、表現を工夫したいと思う。
- (委員) 年金等についての設問もあると、ただ年収を尋ねるよりも生活の困窮具合もわかるのではないかと。
- (委員) 9ページ問30で収入の内訳を聞いているようだ。
- (委員) 問15にも、額ではなくいろいろな働き方ということで、そのような内容を入れてもよいと思う。
- (委員) 聞き方のところで一言触れておけばわかりやすいと思う。
- (委員長) 同じ設問についてだが、世帯の年収でよいのか。
- (事務局) 基本的には世帯と考えている。ただ、新規設問なので変更は可能である。
- (委員) この設問では率直に楽か苦しいかを聞きたいのだと思う。そのため、その前の設問で一番収入の多い人を聞いているのではないかと。
- (委員) 意見交換会について、前回の経験では、精神障害と身体障害の場合は当事者の方に来ていただけるが、知的障害の場合は家族か施設の職員になる。利用者本位や自己決定、意思

決定支援という立場でいうと、知的障害の当事者からの意見を聞く工夫をしていただきたい。

#### **(5) 現行計画施策・事業の進捗状況調査について**

##### **【説明】**

事務局より、現行計画施策・事業の進捗状況調査について説明が行われた（資料3）。

##### **【質疑応答・意見】**

(委員) 役所として進捗状況は把握していると思うが、アンケート調査の項目へ反映されているのか。

(事務局) このアンケート調査については、国の指針を考慮して直面する市の課題と、自立支援協議会の各部会のモニタリング報告を加味している。

#### **(6) その他**

##### **【説明】**

事務局より、意見書の提出方法・期限、次回策定員会の予定について説明が行われた。

##### **【質疑応答・意見】**

特になし。

### **6 閉会**

事務局より、閉会のあいさつが行われた。

以上